事業完了報告書

提出日：２０２３年４月２０日

１．事業概要

（１）実行団体名：一般社団法人栃木県若年者支援機構

（２）事業名　：　「小さなものづくりから始まる「しごとはじめ」×「誰でも学べる寺子屋」で、社会とのつながりに苦しさを抱える人たちに安心を」

（３）事業実施期間：２０２０年４月～２０２３年３月

（４）資金分配団体名：NPO 法人まちぽっと

2. 規程類の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑　完了　／　☐　整備中
→上記で「整備中」を選択した場合、整備できていない理由を記載してください。また、事業開始時と比較して、整備状況が改善された点を記載してください。
（２）　整備が完了した規程類を自団体の web サイト上で広く一般公開していますか。
☒　全て公開した　／　☐　一部未公開　／　☐　未公開
→上記で「一部未公開」または「未公開」を選択した場合、その理由と公開予定日を記載してください。
（３）　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐　変更があり報告済　／　☐　変更があったが未報告　／　☑　変更はなかった
→上記で「変更があったが未報告」を選択した場合、その理由を記載してください。

3. ガバナンス・コンプライアンス体制の整備・運用実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、項目ごとの設問に回答してください。

（１）　社員総会または評議員会、理事会は、規程類の定めるとおりに開催されていますか。
☑　はい　／　☐　いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。

（２） 内部通報制度は整備されていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「はい」を選択した場合、設置方法を以下から選んでください。（複数選択可） ☑ 内部に窓口を設置 ／ ☐ 外部に窓口を設置 ／ ☐ JANPIA の窓口を利用
（３） 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（４） 関連する規程類や資金提供契約の定めるとおりに情報公開を行っていますか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（５） コンプライアンス責任者を設置していましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→上記で「いいえ」を選択した場合、その理由を記載してください。
（６） ガバナンス・コンプライアンス体制の整備や強化施策を検討・実施しましたか。
☑ はい ／ ☐ いいえ
→【任意】上記で「はい」を選択した場合、どのような検討・実施をしたか事例を記載してください。 メンタルヘルス対策を強化するため、2021 年度に委員会を開設。相談窓口の設置や定期的な職員のメンタルケア向上活動を行っている。
（７） 団体の決算書類に対する会計監査はどのように実施しましたか。本事業の最終年度の状況を選択してください。（実施予定の場合を含む）
☐ 外部監査 ／ ☑ 内部監査 ※（複数選択可）
→上記で外部監査／内部監査を選択した場合、その実施者/実施時期を記載してください。 ２０２３年５月を実施予定。実施者/監事 市川義章
（８） 本事業に対して、国や地方公共団体からの補助金・助成金等を申請、または受領していますか。
☐ はい ／ ☑ いいえ

4. 広報実績

いずれかにチェック☑をつけていただき、設問に回答してください。

（1）シンボルマークの活用状況
☐ 自団体のウェブサイトで表示している ／ ☑ 広報制作物に表示している ☐ 報告書に表示している ／ ☑ イベント実施時に表示している ☑ その他 →「その他」を選択した場合は記載してください （自由記述）：SNS（インスタグラム）で発信、マークとは異なるが、ハッシュタグを同時に活用している（＃JANPIA）

最終年度の広報実績について記載してください。

広報種類	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）	無	
広報制作物等	有	インスタグラム・Facebook・Twitter での発信。
報告書等	無	

5. その他（本助成を通じて組織として強化された事項や新たに認識した課題、今後の対応/あればよいと思う支援や改善を求めたい事項など、自由にご記載ください。）

【「つながり」の理解が深まり、今後の活動においてそれを強化していく方向性が定まった】
今まで当団体では、ざっくり申し上げると「ないものは作ろう」の精神で活動を拡大してきたが、当活動を通じて、伝統産業等地域資源の活用を行なったり、資金分配団体の援助で他の地域での事例を検分する機会をいただき、「ないものは探そう」という意識を活動の中に加えていけるようになりました。
今回の活動の一番の成果は、「行き場のない当事者のたしかな居場所になれた」という感覚です。登録生は３倍に増え、協力してくださる団体や個人の方々も増えました。
次年度からはこの活動を土台とし、８０５０当事者の出口を創るための活動を開始します。
この助成がなければ、ここまで来ることはできませんでした。本当にありがとうございました！

【添付資料】

活動の様子がわかる写真　５枚程度

JANPIA の事業報告書や WEB サイト、SNS 等で公開可能な写真を 5 枚程度（1 枚 2MB 以下）ご提出ください。（肖像権・著作権に十分にご注意ください。）
それぞれどんな場面の写真なのか、1 枚あたり 50 字から 200 字程度で説明を記載していただきますようお願いいたします。

※ご提出をもって JANPIA での使用にご了承いただいたこととし、使用時に改めて確認はいたしませんので、ご承知のうえ、使用に差支えのない写真（使用許可をとった写真や個人が特定される写真を避ける等）を選んでいただきますようお願いいたします。

【写真の説明】

【１】内職作業：助成金をいただくことにより、２０１９年から行っていた内職の請負を継続することが可能になりました。ほんの少しですが工賃が出るのと、もくもくと一人でできる作業のため、登録生に人気の高いプログラム。仕事を出してくださる倉庫業者さんには感謝しかありません。

【２】ハーブガーデン手入れ：２０２０年度に畑での野菜作りを試みたのですが、参加者が少ないこと、常時管理を行うことが困難であることから断念。外仕事としては、このハーブガーデンの草むしりと、近所のお墓を掃除する作業の２つが継続となりました。真夏の暑い時間帯に、自転車で一時間かけてやってくる登録生もいます。現代社会には、勤勉だけれど不器用、という誠実なひとの居場所が少ないように思います。

【３】野州麻を使った製品作り請負：栃木県の伝統栽培品である「野州麻」の繊維を使って、麻縄やすだれを作ります。得意不得意のわかれる作業ですが、それだけに自分の職業適性に気づく機会となることもあります。

【４】LINE 相談開始：２０２１年から本格開始した LINE 相談。限られた時間の中ではありますが、年間のべ１００件の相談を受け付けました。「電話が苦手」という登録生が多いので、相談以外のやり取りも、LINE か SMS が多いです。LINE 相談の手前にあるストリーミング配信から LINE 相談につながり、地域の支援に繋がった人もいました。

【５】野州麻農場見学：めったにみんなで外出することはありませんが、活動の間に２回、麻農家の見学に行きました。おやつを配って車に分乗し、１時間ちょっとの道のり。車内でのおしゃべりも意外と盛り上がりました。いつもと違う景色が、登録生の目にはとても新鮮だった様子です。

【６】ワカモノフェスタ：２０２３年２月１２日、宇都宮市内で若者支援のフェスタを３年ぶりに開催。そこにブースをお借りして、洋裁のプログラムで制作している作品や、登録生が家で作った手編みの小物などを販売しました。自分の作った作品が目の前で売れていくのは感慨深いものですね。次の制作意欲を喚起することに繋がりました。